

予報期間 10月25日から10月31日まで

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- ・台風第30号については最新の台風予報を参照。
- ・27日は、台風第30号から変わる低気圧が日本の東へ進み、華北付近の高気圧が日本付近に張り出す。
- ・27日から28日にかけては、低気圧が発達しながら日本海から千島近海へ進む。
- ・28日から29日にかけては、高気圧が朝鮮半島付近から日本の東へ移動する。
- ・30日から31日にかけては、低気圧が中国東北区からオホーツク海へ進み、低気圧からのびる前線が日本付近を通過する。

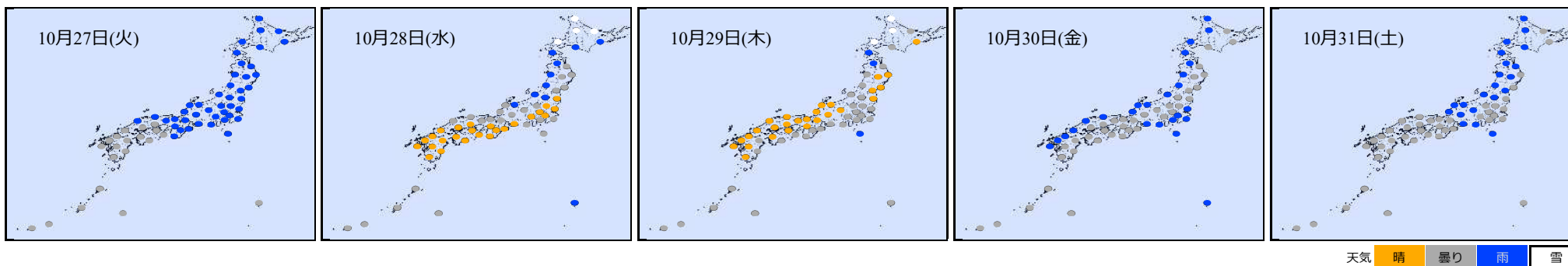
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- ・27日は、台風第30号から変わる低気圧や前線の影響で東日本太平洋側では大雨となり、前線の活動の程度等によっては警報級の大雨となるおそれがある。
- ・27日から28日にかけては、発達する低気圧の影響で北日本を中心に荒れた天気となり、低気圧の発達の数値等によっては大荒れや大しけとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

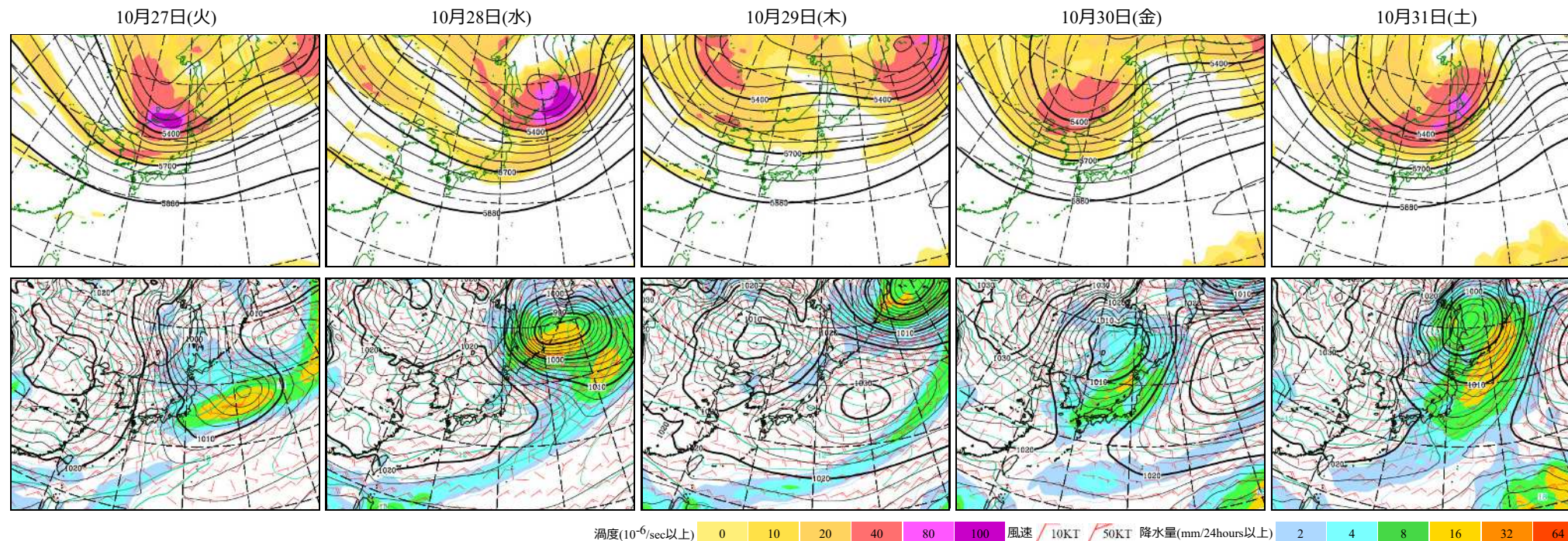
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

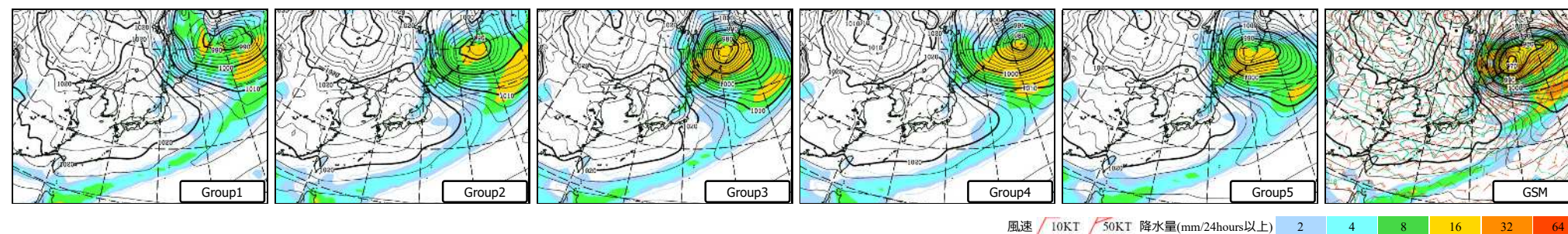


- ・北日本と東日本日本海側は曇りや雨または雪の降る所が多い。29日は晴れる所がある。
- ・東日本太平洋側は、雲が広がりやすく雨の降る所がある。
- ・西日本は、曇りまたは晴れる日が多いが、27日と30日は雨の降る所がある。
- ・沖縄・奄美は、雲が広がりやすい。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)



◆10月28日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSM予想図 海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、27日から28日にかけて北日本を通過するトラフがやや深くなった。31日に北日本に近づくトラフはやや深くなり、東進が早くなった。地上の気圧配置は、大きな初期値変わりはない。
- 500hPaのトラフ、リッジの東西の流れは各モデルともにおおむね揃っているが、トラフの深さや寒冷渦の位置にはモデル間の差や初期値変わりが見られる。
- 28日は、各モデルともに千島近海に発達した低気圧が進む予想だが、低気圧の位置にはモデル間の差がある。ENSはそれぞれのモデルに近いメンバーを含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。